interview

いきいきした地域にＪＣは必要

福井俊之（羽幌青年会議所理事長）
秋山貴人（羽幌青年会議所専務理事）

今月のインタビューは、羽幌青年会議所（以下「ＪＣ」）にお願いしました。

今年2月に主催した「ヤンキー母校に生きる！義家弘介講演会」の成功も記憶に新しいところですが、ジュニアサマーキャンプを毎年開催するなど、地域におけるその活躍は注目に値するものです。

その活動の源泉となるものがどうしても知りたくて、福井理事長と秋山専務理事にお話を伺いにいきました。

聞き手　まずはじめにＪＣの歴史や設立経緯などについてお伺いしたいのですが。

福井　ＪＣは「奉仕・修練・友情を信条として、よりよい社会づくりを目指す青年の集まり」として誕生しました。

羽幌ＪＣにも古い歴史がありますが、長い休止期間を経てＯＢのみなさんの声などもあって２０００年度に再スタートという形になりました。

ＪＣは国際的なつながりのある組織で、北海道地区と呼ばれる組織も４つのブロックに分かれ羽幌はその道北ブロックに所属してはいますが、一般的な組織のように上から下へと組織が分化していくのではなく、逆のような形で地域の組織が広域の組織を維持しているという特徴があります。

聞き手　活動の理念となるものや活動方針についてお伺いします。

福井　最終的に目指すところは豊かな社会を築くことです。豊かな社会とは個人の自立性と社会の公共性が調和している状態だと考えています。

私たちＪＣは金銭的にはメンバー自らの手により維持し活動が成り立っています。だからこそ、しがらみといったものに拘束されることがありません。

ＪＣは生意気だと言われることもありますが、それはしがらみが無いからこそ他の団体が言えないことを言っているからだし、やりたくても出来ないことがやっているからだと思います。

もちろん、それらの行動の原点は地域の豊かな社会のために必要不可欠であると考えているからなのです。

聞き手　お話は変わって、年間行事としてジュニアサマーキャンプに着目された理由は何だったんでしょうか？

福井　発想は単純でした。地域の子供たちに身近に天売・焼尻という素晴らしい大自然があるということを知ってもらい、自分達が住む地域を重んじてもらいたかったという気持ちがありました。

聞き手　今後も継続を？

福井　もちろん今後も継続事業として続けていくつもりです。継続していって彼らが成長したときに、今度は地域の素晴らしさを広める側になってくれたらうれしく思っています。

聞き手　ありがとうございました。次に秋山さんは次年度の理事長として決定されたそうですが、新理事長としての今後の展望はどのようにお考えですか？

秋山　まず第一に過去・現在・未来という時間の流れの中で、現在における自分たちというのは過去からのいろんなものを受け継いで未来についていく役割だと思っています。

でも、今の地域を含めた社会を冷静に見たり考えたりしてみると、バケツリレーに例えるなら受け取ったバケツが「あまりにも重いから」「楽をしたいから」「自分の利益にならないから」といった自分勝手な理由で中身を捨てたり替えたり、受けることすらも止めてしまっているんじゃないだろうか。

結局こういうことを繰り返して、今の世の中がちょっとおかしくなっている気がするし、変えなくちゃいけないものとか変えたほうがいいものをしっかり見極められるような眼力をしっかりと持って、次の世代に受け継いでいきたいという思いがあります。

子供たちに受け継ぐ未来はむしろ自分たちよりイイ時代にしたいからです。

そのためには、地域の意識を変えていきたいという思いもありますが、まずはＪＣのメンバー自らの意識改革が必要だと思っています。

来年度は「チェンジ・ザ・マインド」をスローガンに「意識」の改革を進めていくつもりです。

今まで誰も触れようとしてなかった部分なのかもしれない義理とか人情といったものをもう一度考え直し、行動の前提となる自分の思いといった本当に基本的な部分を再確認してそれをベースにして活動していきたいと思っています。

聞き手　町へ期待することや要望などは何かありますか？

福井　町長にはいつも、いきいきした地域にはＪＣが必要だと説明しています。もちろん舟橋町長も実はＪＣのＯＢなのでそれは十分に理解していただいていると思います。

継続的な活動のために新しいメンバーはいつでも大歓迎です。長いモノに巻かれるのが決して良いとは思えない。一人一人の個性は絶対に殺しません。自分の個性を生かして地域で活動したいと考えるならＪＣに参加して欲しいと思っています。

特に役場職員の加入はＪＣの活動において必要不可欠だと考えています。ここ太字にしといてね。

聞き手　今日はどうもありがとうございました。

予定の時間も軽々とオーバーし、熱い想いを語っていただきました。福井理事長は来年度、北海道地区協議会役員として出向し地域のために尽力されるとのことです。羽幌ＪＣの長い歴史の中でも北海道地区への出向は初めてのケースではないかということですので、更なるご活躍を期待しています。

またＪＣではメンバーを大募集中とのことです。20歳から40歳という年齢条件がありますが、職業や性別は一切問いません。興味があるかたは一度ご連絡いただければと思います。

↙羽幌青年会議所ホームページ
http://www8.plala.or.jp/haboro/jc/

福井　俊之
（ふくい　としゆき）
1967年11月14日生まれ
2005年度羽幌青年会議所理事長
(有)エフケー・ドラッグ「セサミ」代表取締役

「一人一人の個性は絶対に殺さない。自分の個性を生かして地域で活動したいと考えるならＪＣに参加して欲しい」

秋山　貴人
（あきやま　たかひと）
1968年11月2日生まれ
羽幌青年会議所専務理事
萌州建設(株) 営業課長

「未来は過去と現在の積み重ねによって創られる。我々ＪＣは未来へとつながる活動をする責任と義務がある」